

平成 21 年度第 3 回 サイバー・キャンパス・コンソーシアム
政治学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 :平成 21 年 10 月 13 日(月) 午前 10 時から正午まで

II. 場所 : 社団法人私立大学情報教育協会事務局 会議室

III. 出席者 :吉岡委員、荻原委員、川島委員、
井端事務局長、森下、山野上

IV. 政治学教育における学士力の検討

1. 前回検討の学士力(案)についてサイバーFDの意見を含めて検討を行なった。
サイバーFDの意見ではコアカリキュラムのイメージについての意見が多く、到達度、測定方法については意見がなかったにで、主としてコアカリキュラムのイメージについて検討を行なった。

主な議論

- ・ 到達目標 1 コアカリキュラムのイメージ、国際政治学を到達目標2に移す。
- ・ 行政、地方自治、公共政策、+政治学そのものの意義をどこにおくか。
- ・ 社会学に限定されない社会調査方法論や選挙学
- ・ 法学部的、政治経済的、社会学的アプローチがあるがどのように扱うか。
- ・ 行政は3, 4あたりにくみこんでもよい。シチズンシップは本来考えていた。
- ・ 基本概念とその歴史を理解→基本概念と現実の政治現象、歴史にしてどうか
- ・ 選挙学 投票行動論をわけよという意見、→政治意識論を3にし、2の選挙学を外す
- ・ 方法論については3に政治分析、調査手法を入れる。
- ・ 経済学、公法関係などコアに含めるべきであるか?→これは広げすぎ。
- ・ 現代日本政治論は→2に現実の政治現象を入れたことでカバーできている。

検討の結果、別紙の政治学教育における学士力(案)を確定した。

各項目の表現は事務局で表現を統一させることにした。

2. 今後の進め方について

次回からは、政治学分野の情報教育について検討を行なう予定。

政治学教育における学士力（最終案）

平成 21 年 10 月 13 日

到達目標

1. **権力、正統性、国家（政治共同体）などの政治学の基本概念とその歴史を理解できる。**

コアカリキュラムのイメージ

政治学概論（入門）、政治理論、政治思想史など

到達度

- ①政治的諸概念について論理的に説明し、その歴史的背景を理解できる。
- ②その概念を使って現実の政治現象を説明できる。

到達度の測定方法

①は筆記試験により測定する。

B：小レポート

2. **政治社会の制度的仕組み、現実の政治現象を動的・比較的・歴史的な視点から理解できる。**

コアカリキュラムのイメージ

行政学、各国政治史、外交史、政治過程論、政治制度論、国際政治、国際政治史、比較政治、地域研究など

到達度

- A：事象についての正しい知識を持っている。
- B：事象と事象の正確な事実関係を把握できる。
- C：資料の扱い方や科学的・客観的な評価スキルを身につけている。

測定方法

A：択一式を含む筆記試験

B：論述式試験、小レポート

C：各分野に相応しい測定手法

3. **政治制度と人間行動の関係について社会科学的な認識を得ることができる。**

コアカリキュラムのイメージ

政治意識論、政策・立法過程論、公共選択論、政治社会学、政治分析・調査手法、メディア論など

到達度

- A：制度と人間行動についての正しい知識を持っている。
- B：実証的資料にもとづいて政治現象を議論できる。
- C：フィールド調査を企画、実施できる。

測定方法

- A：筆記試験
- B：論述試験、ディベート、課題提出
- C：フィールドワーク企画報告書の作成・提出

4. 人間の集会的決定と共同での秩序形成・維持を可能ならしめる様々な仕組みについての基本的理解ができる。

コアカリキュラムのイメージ

行政学、民主主義論、政治文化論、安全保障、平和学、NPO・NGO 論、地方自治論、公共政策論など

到達度

- A：多面的な意思決定・価値形成プロセスについて理解できる。
- B：問題解決の切り口を見つけることができる。

測定方法

- A：論述式試験
- B：ディベート、グループディスカッション

5. 現代の政治社会の諸問題を複眼的に捉え、どのような問題があるのかを発見し、その問題を集会的意思決定により解決していく態度を身につける（価値の多様性を理解しつつ、異なる価値観同士の共生の方途を探る態度も含む）。

コアカリキュラムのイメージ

少人数演習・ゼミ、ディベート、調査実習、卒業研究など

到達度

社会に出て活躍していける問題発見能力、表現力、解決力を身につけている

測定方法

卒業論文、卒論報告会、合評会